



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### ① 防災学習

震災により、児童が自分の命を自分で守る力を身に付けさせることが課題となった。25年度から防災教育を取り入れ、自分たちの命を守るための児童による自主的な思考と行動を主とした学習を「防災学習」と位置付け、重点的に取り組んできた。

#### 【1, 2年生】「地震や津波から身を守ろう」

生活科や学級活動を中心に、地震や津波のときに自分のいる場所に応じてどのような対応をとったらよいかを体験活動を通して身に付けることができた。



【1年 地震から身を守るポーズ】

#### 【3年生】「地域の災害と身の守り方」

鹿折地区の洪水や土砂崩れについて調べて、身の守り方を考えた。導入では、ゲストティーチャーに地域の方と消防署の方を迎えて、洪水や土砂崩れについて学んだ。

#### 【4年生】「地域の防災マップを作ろう」

津波から避難するための場所やそこまでの経路等について調べ、地図にまとめことを通して適切な判断力を身に付けることができるようにした。



【4年 防災マップ作り・フィールドワーク】

#### 【5年生】「地域の津波被害を考えよう」

過去の津波被害を振り返り、津波に備えるための防災マップの活用の仕方を考えながら、進んで自他の安全や地域の安全に役立つことができるようにした。

#### 【6年生】「災害時に自分にできること」

避難所のくらしや防災ボランティア等について調査をすることを通して、災害発生時や事後に進んで他の人々や集団、地域の安全に役立つことは何かを考えることができるようにした。

#### ② 地域学習

現在地域との連携を密にしている。その中の一つ、5学年の学習「無農薬で米作りをしよう」について紹介する。

この学習は、鹿折公民館が「地域の教育力や家庭の教育力の再考」と「ふるさとの環境の再興」を目指し、平成19年度から「温故知新運動」として始めた取組との連携によって実現した。

この学習を通して、子どもたちは自分を取り巻く自然環境だけではなく、人との関わりについても学んでいる。子どもたちは田植え、除草作業、稲刈りまでを、震災前と同様に実際に体験しながら学んでいる。このことは、ESDの概念である、持続可能な社会づくりに合致するものと考えられる。



【5年 事前に稲について学ぶ】

初めて田に入る時は、素足で泥の中に入ることには抵抗を感じる子どもたちが多かったが、田植えが終了する頃には、「もっとやりたい。」「気持ちよかった。」「EMや、田植えの道具についてもっと調べたい。」という言葉が聞かれるようになった。さらに、昔から米作りは地域で助け合って行われてきたことに気づき、「自分と地域や環境との関わり」「人とのつながりの大切さ」についても実感することができた。



【5年 昔ながらの方法での田植え】

### ③ 国際理解活動

本校では5・6年生のみならず、1年生～4年生でも年間を通してALTと国際理解のための活動をしている。さらに、年に1回、宮城教育大学国際理解教育研究センターの協力のもと、様々な国の留学生を招いて、国際交流活動を実施している。今年度は、センターの代表1名と留学生6名を招いて実施した。

#### 1年生 むかしの遊び（日本）を伝えよう

留学生から、台湾や中国の遊びを紹介してもらった。鹿折小1年生からは、こま遊びなどを紹介した。台湾版じゃんけん列車や名前当てなどをして一緒に遊んだ。



【2年 春節の紹介】

#### 2年生 節分を体験しよう

日本の節分と近い時期に行われる中国の春節についてパワーポイントの画面を見ながら詳しく説明してもらった。2年生から節分の紹介をしたあと、留学生の方々と一緒に鬼の面を作って交流を図った。

#### 3年生 一緒に遊ぼう

留学生から中国、台湾について紹介してもらい、3年生からはドッジビーの紹介をした。その後、体育館で留学生と一緒にドッジビーをした。



【3年 ドッジビーで交流】

#### 4年生 外国の音楽に親しもう

初めに台湾、中国、スリランカのそれぞれの文化や音楽を紹介してもらった。その後、映像で中国の踊りを紹介してもらった。4年生から、今、日本で流行のダンスをいくつか紹介し、留学生と一緒に踊った。

#### 5年生 「和の文化」を知らせよう

「和の文化」について調べ学習で分かったことを、留学生に紹介した。日本のそろばんや食べ物などについて、グループごとに発表し、留学生からは、質問や感想を聞いた。



【6年 非常用御飯をふるまう】

#### 6年生 防災学習の成果を発表しよう

本校の防災学習で6年生は、「災害時に自分たちができること」というテーマで、調べ学習や体験学習を進めてきた。この日、これまでの成果を留学生に紹介した。冷凍保存用ビニル袋を使った御飯炊きのグループは、自分たちで炊いた御飯を留学生にふるまうなどした。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）